

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 28日

事業所名 Woody放課後等デイサービス②

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	3	0	活動内容や子どもの特性に応じて、個室などスペースを区切る等の工夫をしています。	法令遵守した広さを確保し、利用定員としては適切であるが、活動内容や子どもの遊び方によってはスペース不足を感じることもあるため、その日の利用児によってスペースの使用の仕方を日々検討してきます。
	2	職員の配置数は適切である	0	4	1	職員平均4人体制で対応しています。利用人数や活動内容により職員を増員するなど配慮しています。	適切な人員配置を行っていますが送迎等で人員が少なくなる時もある為より工夫していく必要があります。また、より良い支援を行う為法令で必要とされる配置数に加え新規入職した職員の育成を行い、専門性を高めています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	2	2	段差や階段など身体的に補助が必要な場合は、必要な補助や昇降の練習を行っています。	室内に段差がある所や、2階への移動は階段となっているため、引き続き見守りや補助など安全に移動できるよう配慮してまいります。また、定期的な点検を行い、必要な環境整備を整えてまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	1	1	日頃の支援の振り返りをし、改善に繋がる様話し合いの場を設けています。	子どもの個別支援計画に関しては、職員それぞれのアセスメントを元に、児童発達支援管理責任者が作成しています。またその他の業務に関しても、朝礼や会議にて情報共有し、業務改善に繋げてまいります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	0	保護者向けの評価表などのアンケートを毎年実施し、頂いたご意見などをもとに業務改善に努めている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	0	自己評価の内容は、ホームページにて公開しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	0	第三者による外部評価は行っておりません。	今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2	0	定期的な内部・外部の研修会に参加できるよう時間の確保をしています。	今後も各職種の職員が専門性を高められるよう、定期的な研修会の開催と参加を行ってまいります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	0	契約時または6か月に一度、保護者、相談支援専門員から本児の状況・課題・保護者・本児のニーズを把握、アセスメントし個別支援計画に活かし作成しています。	今後も定期的な面談などで子どもと保護者からの聞き取りを行い、児童発達支援管理責任者が個別支援計画の作成を行ってまいります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	2	1	事業所で作成したアセスメントシートや感覚評価のシートを活用しています。	多様な子どもの特性などしっかり評価できるよう、職員全員がアセスメントツールの活用ができるようにしていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1	1	子ども達が楽しく色々な体験ができるように考え活動プログラムを作っています。	子どもそれぞれの支援計画をもとに会議を行い、活動プログラム立案を行ってまいります。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	2	1	子どもそれぞれの支援計画をもとに会議を行い、活動プログラム立案を行っています。	今後も様々な活動を通じて、新しい体験や楽しい時間を過ごせる様、活動内容を工夫していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1	1	1日の計画を立て、細かい対応は個別に行っています。	休日・長期休暇に関しては、休日にしかできないイベントやプログラムを作成するようにしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	3	0	子どもの特性に応じた計画を考え、スモールステップで達成できる計画を作成しています。	子どもそれぞれの支援計画を作成し、それらに添った活動を行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	0	時間の都合上、開始前に打ち合わせ出来ない時もあるが、当日できないことがわかっている場合は事前に打ち合わせの時間を設けています。	毎日の朝礼にて、情報共有と役割分担等スタッフ間で統一した支援が行えるようにしていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	0	翌日の朝礼で、前日の振り返りと情報共有を行っています。	毎日の朝礼にて、情報共有と役割分担等スタッフ間で統一した支援が行えるようにしていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	2	0	ケース記録に記載し、振り返り、検証、改善等につなげています。	今後もケース記録をもとに情報共有を行い、支援の検証・改善につなげるようにしていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1	0	基本的に6か月に1度モニタリングを行っているが、必要時はその都度話し合いの場を設けています。	今後も左記の頻度でモニタリングを行い、計画の見直しをしていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	1	4	0	ガイドラインの総則に添った支援ができるよう、スタッフ間で共有しています。	改めて職員でガイドラインの総則を見直す等して、よりよい支援に繋がっていきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	0	サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が必ず参加しています。	今後もより連携を図り、充実した支援ができるように取り組んでいきます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	1	1	必要に応じて、学校及び関係機関との連携強化を行っています。	今後もより連携を図り、充実した支援ができるように取り組んでいきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2	0	医療的ケアの方法など、主治医への訪問も行ってあります。	今後もより連携を図り、充実した支援ができるように取り組んでいきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	4	1	必要に応じて、情報共有を行っています。	今後もより連携を図り、充実した支援ができるように取り組んでいきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	2	2	就労準備プログラムを提供しておりますので、得意分野や課題などを共有しています。	今後もより連携を図り、充実した支援ができるように取り組んでいきます。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	2	頂いた助言は子どもの支援計画・内容に反映させるようにしています。研修には積極的に参加しています。	今後もより連携を図り、充実した支援ができるように取り組んでいきます。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	2	3		コロナ感染症の状況を見ながら、オープンイベント開催時や外出活動などにて交流の機会を増やしていきます。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1	2	コロナ渦のため、ZOOMでの参加を行っております。	今後も積極的に参加をしていきます。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	送迎時に保護者に直接お伝えするように心がけています。	送迎時にお伝え出来ない場合は、連絡帳や電話などで情報共有しています。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	1	保護者から自宅での様子をお聞きし、利用時の状況をお知らせしています。その中で、必要に応じて自宅でも可能な支援内容をお伝えするようにしています。	今後も保護者との情報共有をしながら、必要に応じて自宅でも可能な支援をお伝えしていきます。
保護者への説明責	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	2	0	利用契約時に説明を行っております。	利用契約時に説明をしておりますが、不明な点などあれば随時説明を行っていきます。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	0	その都度、子どもの状況に応じて保護者とお話しし、悩みや相談に適切に対応するように心がけております。	今後も保護者の悩み等に対して、相談員や学校などと連携を図りながら支援していきます。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	2	3	コロナ渦のため、現在は開催出来ていません。	新型コロナの終息後は、定期的に事業所の保護者会等を開催し、情報の共有や保護者同士の連携を支援していきます。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	2	0	苦情等の施設への意見が言いやすくなるよう、日頃から保護者様への声掛けをしています。	頂いた苦情や申し入れに対しては、迅速かつ適切に対応するようにしていきます。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	1	お手紙やHPにて活動概要や行事予定をお知らせしています。気になる点・連絡事項等は、その都度保護者に連絡するようにしています。	今後もお手紙やHPなどにてお知らせしていきます。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
任 等	35 個人情報に十分注意している	3	2	0	・個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。 ・個人情報の取扱いについては十分注意するとともに、取扱いに際しては、その都度、目的や内容等について保護者に確認し了解を得たうえで関係機関と連携させていただいております。	今後も左記の方法で個人情報の取り扱いに注意してまいります。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1	0	送迎時での会話やお知らせのお便り、電話などで臨機応変に対応しています。	子どもの特性などを把握したうえで配慮していきます。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	1	4	コロナ禍のため実施できていません。	コロナ感染症の状況を見ながら、オープンイベント等を開催し、地域の子どもの参加する機会を設けていきます。
非 常 時 等 の 対 応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1	2	各マニュアルを策定し、職員全員が周知できるようにしています。	保護者にも周知して頂ける様、定期的に各マニュアルをお手紙等で配布します。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	0	毎月1回いろいろな災害を想定した避難訓練を実施しています。その都度必要な準備物を揃えるなど、非常時に備えています。	今後も継続して避難訓練を行っていき、逃げる練習と一緒に非常食を食べるなどの避難生活に慣れる練習もしていきます。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	3	1	虐待防止に関する研修は児童発達支援管理責任者が必ず受講し、職員間で共有しています。	今後も研修を行い、職員間での共通理解としていきます。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2	0	身体拘束は行っていませんが、活動について子どもの安全確保のための行動制限に関しては事前に子どもや保護者に説明し了解を得ています。	今後も身体拘束などの子どもの行動制限を行わずにできる支援をしていきますが、安全確保のためやむおえず行動制限をする場合は、事前に子どもや保護者様に説明し了解を得るようにしていきます。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	0	定期的に保護者からの聞き取りによって職員全員が把握するようにしています。	今後も保護者を通じて医師の指示内容の確認を行っていきます。また、食物アレルギー対策は食品提供時の確認など実施していますが、食物アレルギー対応マニュアルとして作成・周知を図っていきます。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	0	ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、朝礼と全体会議で情報共有しています。	一部、事例の書き漏れなどありましたので、ヒヤリハット委員会を通して、報告書の作成と情報共有を徹底していきます。またその上で、原因を分析し、安全が確保できるよう業務改善を図っていきます。